



もうすぐ、期末テストがあります。皆さんは計画を立てて、勉強していますか？暑くなったり、寒くなったりと体調管理が難しい時期ですが、きちんと睡眠をとり、テストに備えられるようにしましょう。また、図書館に新しい本が入ったので、ぜひ読んでみてください！
(担当：3-B女子)

図書委員のオススメ本 テーマ…文豪に興味を持とう



『羅生門』 芥川龍之介 913あ



職を失った下人が、羅生門で死体の髪の毛を抜いてカツラを作ろうとしている老婆と出会い、心情が変わっていく物語です。最初は人間的な考えを持っていた下人も老婆の「生きていくためだから仕方ない」という言い訳を聞き、考えが変わっていきました。

その後下人のとった最初の人間的な考えとは正反対な非人間的な行動が予想外でした。この作品は人間の内面が生々しく表現されていてとても興味深い作品です。ぜひ手に取ってみてください。
(担当：3-B男子)

『蜘蛛の糸』 芥川龍之介 913あ



蜘蛛の糸の主人公は、カンダタという大泥棒。地獄に落ちた彼をお釈迦様が見つけます。彼が生前蜘蛛を助けていたことから、お釈迦様によって救いの手（糸）が差し伸べられます。それにつかまる彼ですが、同じく地獄に落ちた者達も救いを求めて……。蜘蛛を助けたことがあることでお釈迦様に救ってもらえるのは良かったと思った。

ぜひ読んでみてください。
(担当：3-C女子)

『道草』 夏目漱石 913な



海外留学から帰ってきた建三は、小説を書いていた。ある日建三は絶縁した島田と言う建三の養父にしきりに金をせびられます。建三や建三の姉などの人物が島田との難しい関係や金銭問題のある中生活していく物語です。夏目漱石が生きた時代と今の時代の違いを感じながら読むと、想像も広がり、より楽しめると思います。難しい本ですが、当時の様子や考え方など様々な事が学べます。ぜひ読んでみてください。

(担当：3-C男子)

『思い出トランプ』 向田邦子 913



向田邦子さんの思い出トランプは、綺麗ごとだけではない酸いも甘いも味わえる生の人間のおいを感じられるような本でした。全部で13編ある短編集で短編なのに長編を読んだような重圧さ、短編だけでは物足りないほどの面白さのある本です。

この本では、語り手が三人称になったり一人称になったりと、視点がごく自然と変わっていくので、なかなか読むのが大変ですが、読書が好きな人には是非読んでもらいたいです。全13編どの作品も人と人、男と女などにまつわる微妙な関係やそれにまつわる出来事が興味深く表現しており、誰にでもある狡さや妬み、その他の暗い気持ちがこれでもかと書かれていて気持ちが良いです。私たちの年齢だとまだ理解するのが難しいものも多いですが、また大人になったら読み返したいと思える本でした。是非読んでみてください。
(担当：3-A女子)

『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』 村上春樹

この小説は、二つの物語が交互に展開する形で構成されています。一つは、「僕」を主人公とする『世界の終わり』と、もう一つは「私」を主人公とする『ハードボイルド・ワンダーランド』。二人の主人公「僕」と「私」は、全く違う世界で暮らしているのですが、同一人物かもしれません(?)。『世界の終わり』では、影を切り離され心を失くした人たちが、高い壁に囲まれて外の世界と完全に遮断されている街で暮らしています。その街で、一角獣の頭骨から夢を読んで暮らす「僕」が描かれます。

一方の『ハードボイルド・ワンダーランド』では、計算士という仕事をしている「私」の身の周りに、ある老博士から謎の動物の頭骨をプレゼントされたことがきっかけとなって、不思議なことや理不尽なことが起こります。博士の太った孫娘とともに、その真実を解明していくのですが…。

—他人から教えられたことはそこで終わってしまうが、自分の手で学び取ったものは君の身につく。そして君を助ける。目を開き、耳を澄まし、頭を働かせ、街の提示するものの意味を読み取るんだよ。—
～本文より～

「村上春樹の『海辺のカフカ』、おススメだから読んでみて！」
—それまでほとんど読書をしなかった私が、村上春樹の作品をほぼ全て読破するほどの本好きになるきっかけを与えてくれた一言です。この言葉は、以前、東原中の同僚だった国語の先生からいただきました。その村上作品の中で、何度も読み直すほどの一番のお気に入り、この『世界の終わりとワンダーランド』。国語の先生に紹介していただいた『海辺のカフカ』は、この作品の続編ともいわれています。

偶然、一生お付き合いできるような「人」との出会いがあるように、ふとしたきっかけで人生を豊かにするような「本」と出合えることがあります。普段、めったに学校図書館を利用していない人でも、ある時ふっと立ち寄ってみると、思いがけず素敵な「本」に巡り合えるかもしれません。

(担当：3-A男子)

新しく入った本から

君はレフティ

額賀澤 913ぬ

交通事故で記憶を失った高校生・古谷野真樹。学校生活に復帰すると、謎の落書き事件が発生する。調査を進めるうちに次々と見えてくる、かつての自分と親友達の秘密。忘れてしまった「真実」に辿り着いた彼が下した決断とは…。



最後まで結末が予測できない切ないストーリーです。

13歳からの「身になる読書術」探し方・読み方がわかる本

大居 雄一 019お

夢中になれる本との出会いは一生の宝！現役中学教員が本の探し方・読み方を教えるとともに、「いのちをかんがえるための本」「電車の中で読んではいけない本」など独自の視点で選んだ200冊を紹介する。



「毒書生活」という名のクラス通信は、私もしばしば読みたいです。幅広くて興味湧く一冊。